ボートレース尼崎について

令和８年1月23日

JAM議員団　　様

ボートレースとは？

自治体または特定の公営団体が開催し、投票券を販売する**公営競技の一つ**。ファンの皆様が購入する舟券売上の一部が、直接、それぞれ市の予算に組み入れられて、教育施設の充実などのさまざまな事業に生かされる、**社会・地域に貢献されるしくみ**となっている。

日本の公営競技の比較　　Motorboat Racing Association

種類	ルール	基本的な出走数	賭け式	場数	場外発売場数	選手数騎手数
ボートレース	1周６００mのコース（水上）をボートで３周し、勝者を決める	6艇	全７賭け式 単勝・複勝 ２連単・２連複 ３連単・３連複・拡連複	２４場	８４場	約1,600名
競輪	コース（バンク）を自転車で周回し、勝者を決める	6車～９車	全７賭け式＋重勝式 ２車単・２車連・２枠単 ２枠連 ３連単・３連複・ワイド	４３場	７３場	約2,300名
オートレース	1周５００mのコース（バンク）をバイクで周回し、勝車を決める	7車～８車	全７賭け式＋重勝式 単勝・複勝・連単・連複 ３連単・３連複・拡連複	5場	３５場	約400人
中央競馬 地方競馬	馬に乗り、コース（芝・ダート・障害）を走り、勝馬を決める	5頭～ １８頭	全９賭け式＋重勝式 単勝・複勝・馬単・馬連 枠単・枠連 ３連単・３連複・ワイド	中央：１０場 地方：１５場	中央：５７場 地方：４３場 両方：５０場	中央：約150名 地方：約280名

モーターボート競走法

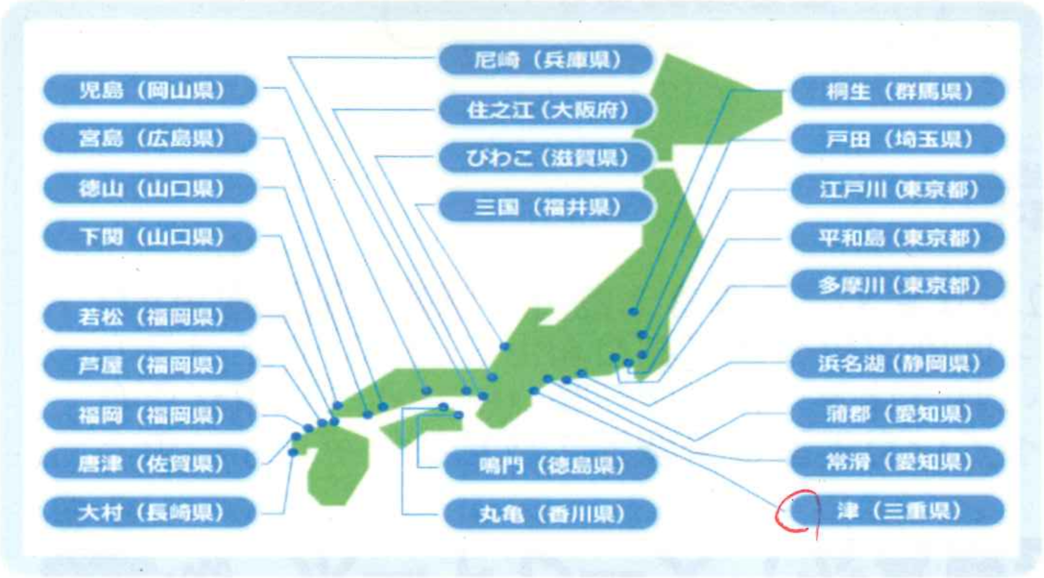
（趣旨）第１条　この法律はモーターボートその他の船舶・・・**公益の増進を目的とする事業の振興**に資するとともに、**地方財政の改善を図るため**に行うモーターボート競走に関し規定するものとする。

（競走の施行）第２条　都道府県及び人口、財政等を考慮して**総務大臣が指定する市町村**は、その**議会の議決を経て**、この法律の規定により、モーターボート競走を行うことができる。

ボートレースの開催場所および時間帯（全24場）

ボートレース場は全国に24場あり、それぞれの場により開催時間や開催日数（年間）が違います。また、一つのボートレース場を複数の自治体（施行者）で運営している場も多くあります。

ボートレース尼崎は**デイレース場**で**尼崎市と伊丹市が施行者**となっており、尼崎市主催130日・伊丹市主催56日の**年間186日**のレースを開催しています。

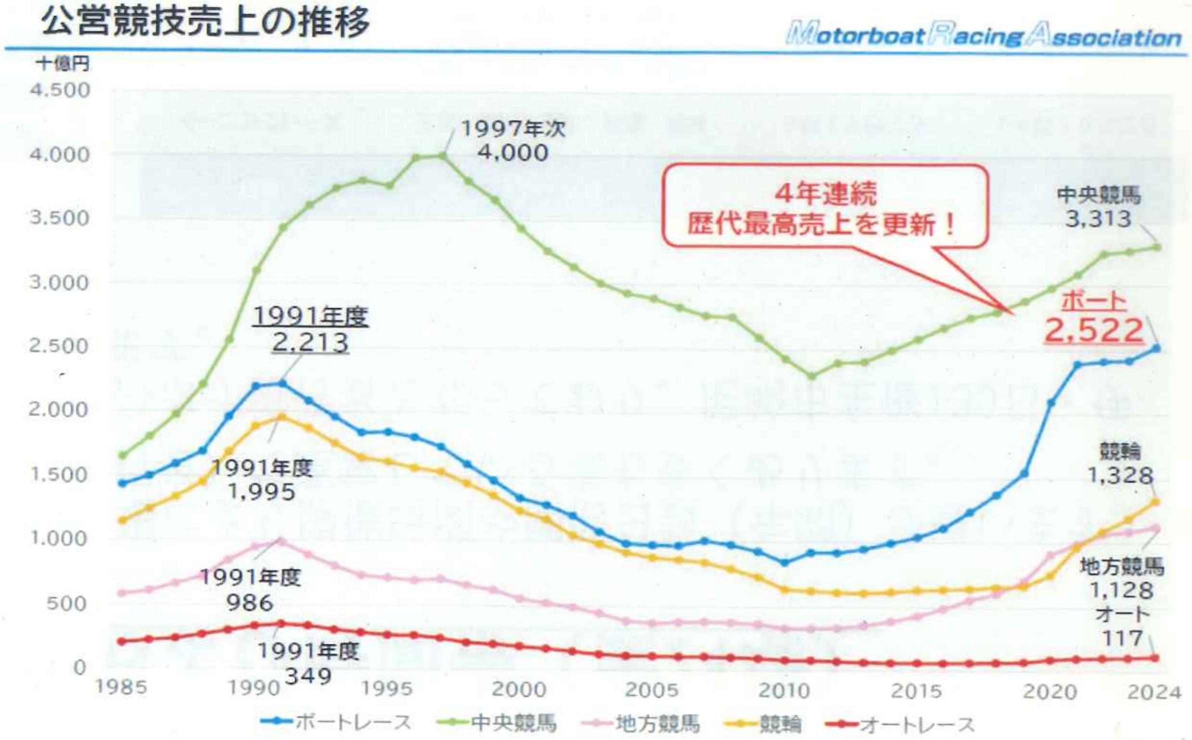


種類	レース場	1Rスタート展示時間	12R終了時間
モーニングレース	三国、鳴門、徳山、芦屋、唐津	8時15分ごろ	14時30分ごろ
デイレース	戸田、江戸川、平和島、多摩川 浜名湖、常滑、津、びわこ、 尼崎、児島、宮島、福岡	10時15分ごろ	16時50分ごろ
サマータイムレース （薄暮レース）	平和島、多摩川、浜名湖、福岡	おおむね11時以降	17時～18時ごろ
ナイターレース	桐生、蒲郡、住之江、丸亀、下関、 若松、大村	おおむね15時以降	20時50分ごろ
ミッドナイトレース	下関、若松、大村	17時以降	21時40分 ～ 22時45分ごろ

ボートレース（公営競技）の売上は？

ボートレースを含む公営競技の売上はバブル崩壊以降減少傾向が続いていましたが、コロナ禍における外出（レジャー）機会の減少、それに伴い電話投票（インターネット投票）が大幅に伸びたことなどにより、令和２年度以降大幅な増加傾向となっています。なかでもボートレース業界全体の売上は**4年連続過去最高**を記録するなど、大きな伸びを見せています。

年間売上 **２兆5220億円**って
シャープの国内売上より多いらしいよ



ボートレース尼崎の売上（尼崎市開催分）

ボートレース尼崎（尼崎市主催分）の売上は平成３年度（1991年）の1,383億円をピークに減少傾向が続き、平成23年度（2011年）には264億円にまで落ち込みましたが、令和6年度（2024年）には695億円にまで回復しています。

単年度でみると、**大きなレースがある年とない年**で売り上げが増減するんだよ

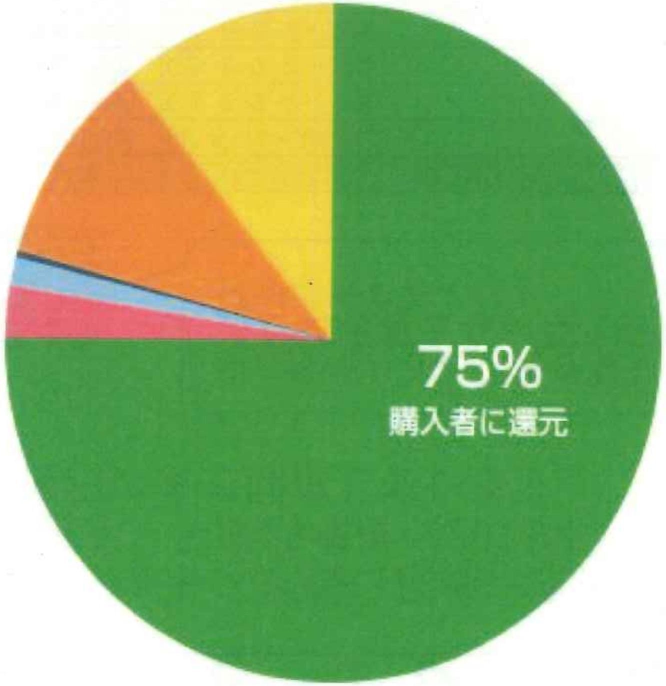
年度	レースタイトル
平成30年度	SG ボートレースオールスター
令和元年度	GⅡ モーターボート大賞
令和２年度	GⅡ モーターボート大賞
令和３年度	GⅡ モーターボート大賞
令和４年度	SG オーシャンカップ
令和５年度	GⅡ ボートレース甲子園（7月4日～9日）
令和６年度	SG グランドチャンピオン（6月25日～30日）
令和７年度	**PGⅠ ボートレースバトルチャンピオントーナメント（1月22日～25日）**

（百万円）

	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
総売上	**37,429**	**45,965**	**53,903**	**63,574**	**56,213**	**69,501**	**53,868**
うち、電話投票売上	20,393	31,687	38,338	47,057	41,288	52,407	40,360

ボートレースの収益金使途

ボートレースの収益金の一部は、**日本財団**や**地方公共団体金融機構**を通じて、「子どもの第三の居場所」づくりなどの社会課題の解決や地方自治体のインフラ整備などに活用されています。また、利益については施設整備に必要な金額を除きすべて尼崎市の一般財源に繰り入れることで、**まちづくりの貴重な財源として活用**されています。



約3.2%　**日本財団への交付金**

約1.3%　**（一財）日本モーターボート競走会への交付金**
レースを主催する自治体から委託を受け、ボートやモーターの維持・管理、競走開催中の選手の管理、競走の運営などを行う。

約0.8%　**地方公共団体金融機構への納付金**
地方公共団体金融機構を通じて、上下水道の整備など、地域で役立てられる。

実費　**開催経費**
管理費、人件費、施設費、選手への賞金など

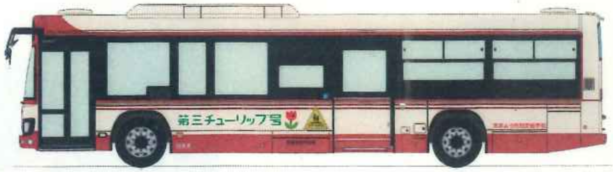
残額　**レースを主催する地方自治体**
繰出金として地方自治体の予算に組み入れられる。尼崎市では教育施設の整備等に活用されてきており、近年では福祉施設など公共施設の整備などに活かされている。

ボートレースの収益金使途（市財政への寄与）

これまで、市の財政へ繰り出された額は**およそ3,500億円**となっており、統廃合による学校の解体や校舎の増改築などの教育施設の充実や、消防署の建替えなどの費用の一部として活用されています。

休日夜間急病診療所（イメージ）

子どもの育ち支援センター（イメージ）



あまようスクールバス（イメージ）

（百万円）

	R1決算	R2決算	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算
総売上	**37,429**	**45,965**	**53,903**	**63,574**	**56,213**	**69,501**	**53,868**
うち、電話投票売上	20,393	31,687	38,338	47,057	41,288	52,407	40,360
繰出金	**990**	**3,140**	**3,376**	**4,097**	**2,862**	**3,864**	**320(1508)** ※

※R7予算の（　）内は利益処分見込額1,188を含む

（ボートレース場のパーク化）

市財政への繰出しによるまちづくりへの貢献だけでなく、**ボートレース場そのものがまちの魅力**となることを目指し、ボートレース場のパーク化に取り組んでいます。

モーヴィあまがさき（屋内）

季節のイベント（プール）

【概要】

〇オープン日：令和４年４月10日
〇Ｒ７年営業予定日数：245日
〇営業時間：10時30分~16時
　（平日120分間２クール・休日等80分間４クール）
〇令和６年度利用率：平日４割・休日等７割（定員120名）
〇利用者実績：Ｒ５年度（58,482人）Ｒ６年度（64,279人）

※**貸し切りモーヴィ**や**出張モーヴィ**についても実施

【主なファミリーイベント】

（夏季イベント：プールなど）
　〇開催期間：夏休み期間中に38日間実施
　〇子ども来場者数：15,814人（Ｒ６実績）
（冬季イベント：雪遊びなど）
　〇開催期間：12~１月に9日間実施
　〇子ども来場者数：5,313人（Ｒ６実績）

※尼崎市では経営計画における活動指標に**「小学生以下の来場者数」**を掲げ、ファミリー層も楽しめる本場利用促進に取り組んでいます